

wish times Digest

Copyright 2015. (WISH) all rights reserved.

Nakano, Sunday, Mar~Dec, 2014

「気づけ、キミも主役だ」。

早稲田祭が、今年も11月1日・2日に開催された。本格的に秋を向かえ、入学してからの日々が少し味気なくなってきたかもしれない。普段何気なく生活している早稲田キャンパスは、この2日間だけは違う表情を見せる。溢れんばかりの人の中で、「自分も主役であること」に気づき、輝きを見せたWISH生がいる。彼らの輝きを我々は追った。



「私たち下駄っぱーずが、皆さんを元気にしてみせます！」

迷いなくそう宣言するのは、ゆーなさん。1年生ながら、ステージ上で堂々と振る舞う姿は、学年なんて関係なく主役になれることを確かに体現していた。踊りが始まった瞬間、3号館前までに溢れる人の視線は一気に講堂前ステージに釘付けにされる。何気なく通りすぎようとした人ですら、彼女たちが生み出す音にまず引き込まれる。下駄が生み出す音は、タップシューズのそれよりも低く、力強く感じる。下駄の音、かけ声、踊り。この3つが複雑に絡み合い、観客はただただ目を離せず、圧倒される。そこへ、下駄っぱーず全員の「熱い笑顔」が観るものを魅了していた。

自然と見ているこっちまでも笑顔になる。そうなることをはじめからわかっていたかのようなステージングだった。大抵のパフォーマンスは、演者の一方向のコミュニケーションに終止することが多い。だが、確かに彼らのパフォーマンスは、たった25分の間に両者を笑顔にすることで、観客と演者との二方向のコミュニケーションを可能にした。また来年も、笑顔に、元気にしてもらおう。そう思えるパフォーマンスだった。



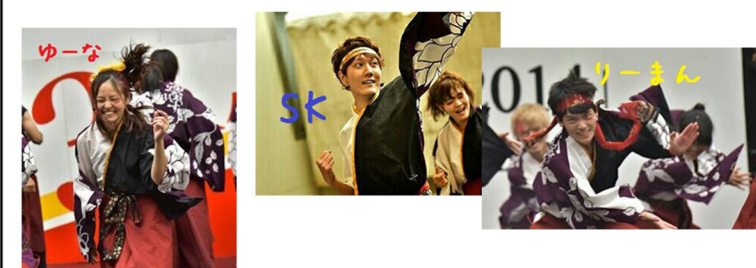
パントマイム。よく耳にするし、仲間内で救いようのな

いレベルのものを一発芸として披露させた苦い思い出が筆者にはある。そんなイメージが一瞬にして覆されるステージだった。披露してくれたのは、R.K.くんが所属する舞夢路。

パフォーマンスはロボットダンスから始まり、19個もの演目が披露された。そのどれもが非常にユニークに構成されていた。目に見えないものが、まるで目の前にあるかのように表現される。目の前にある壁はもちろん、北海道で馬にのった思い出も、遅刻しそうになっている心境も表現できる。ここまで言葉を介さず、様々なことを表現できる事はパントマイムならでは、だ。R.K.くんも「野球ダンス」という演目において、彼らしい喋りを早稲田祭の場でも期待通りに見せ、会場を盛り上げていた。ちょっとした時間にも自然にパントマイムを練習している彼の姿を、WISHでもよく見かけていた。そんな彼の努力がしっかりと結実した場面に立ち会えた気がした。来年も確実にこの団体が素晴らしいパフォーマンスを見せてくれるはずだ。世界の表現は、言葉を介さずとも可能なかもしれない。そんなことを考えさせられる公演だった。

(text and photo by R.S.)

ここで！
広報の杏奈が早稲田祭で輝いていた人たちにインタビューしてみました！その初バッテリーは、**下駄っぱーず**！



◎初めての早稲田祭どうだった？

SK—下駄っぱーずに入部したときから、先輩たちから『早稲田祭は一つの大きな目標』と聞いていたので、『このサークル全体の目標的存在なんだ』という意識をもって臨みました。一日目はどしゃぶりの雨の中でのパフォーマンスで、自分の立ち位置確認したらまさかの水たまりだったんですが(笑)お客さんもいっぱいいて全力で臨みました。早稲田祭の次の日はしばらく放心状態で、自分たちは本当にすごい経験をしたんだとジワジワ思えてきて涙が出てきました。

ゆーまん—テンション上がりすぎて振り付けとか無視して好きなように暴れて、お客さんを煽りまくってました(笑)引退する先輩にとっては最後の晴れ舞台だったんですが、全然そんな実感が湧かないまま練習に追われ忙しい毎日が過ぎていきました。終わった瞬間も実感湧かな過ぎて涙も出なかった...！

ゆーな—OBの先輩方もめちゃくちゃいいカメラ抱えてたくさん来てくれました！大隈講堂前ステージという大きなステージの担当をゆーまんと一緒にやって、当日みんなが楽しそうに踊ってるのを見てすごく嬉しかった...！！終わってから担当をやってくれてありがとうと言われて、本当にやってよかったと思いました。

◎みんな熱い...！！じゃあ、来年はどんな早稲田祭にしたい？
ゆーな—今年を超えたいですね。超えなきゃいけないし、超えるつもりです。

ゆーまん—うん絶対超える。
SK—僕は留学で来年はいないのですが、下駄っぱーずはこれまで目標としてきたことをたくさん達成してきました。これからは、既にあるものではなくて自分たちで新しいことを作ってみたいです！

最後にゆーなが、足に付けているミサンガを見せてくれました。先輩たちが手作りして一人一人手渡ししてくれたんだそう。本当にサークルの仲間や先輩のことが大好きなんだということが伝わってきました。3人ともありがとう！

男祭り2014。これぞ早稲田！！という毎年伝統のこの企画。男たちが赤ふんどしで踊るだけだと思っていたら大間違い。彼らはステージ上で自分たちの大きな夢を声を張り上げて叫ぶのです。その熱い姿に感動して思わず涙する人も。そこで7階RAの S.N.くん(以下S)にインタビューしてみました！



◎そもそも何で参加しようと思ったの？

S—昨年の早稲田祭で実際に男祭りを見て泣いたから！どうせ早稲田だからまた馬鹿なことやっているんだろうなと思ったら、男たちが本気で夢を叫んで。ただ馬鹿なことをするんじゃないで、馬鹿なことなりに人を感動させることをする！というそのコンセプトに共感したんだよね。

◎練習でのエピソードを教えてください！

S—深夜練もめっちゃやっただし練習は本当にガチだった。お互いの思いが熱すぎてみんなで泣きながら喧嘩した。あと本番一週間前に、『真の男たちの友情あるのなら、口移しで食べ物を食べることもできるはずだ。』って誰かが言い出してコーヒーゼリーを全員で口移しして一人の風邪が全員にうつった...

◎うんなんか壮絶だねお疲れ！で、実際にやってみてどうだった？
S—ステージ上からの光景に感動した。『男祭り感動した。』『来年やってみたい。』という声を聴いて本当にやってよかったと思った！

そうそう、男祭りでは2年生寮生の I.O くんも活躍しました！もうほんとWISH寮生すごいね。

オアシス。大隈講堂という素晴らしいステージ！私に実際に観に行ってみて思ったのは、「全然ジャズじゃない...！」ということ。実はジャズダンスとはジャズ音楽に合わせて踊るもの、というのは大きな勘違いで、実際はダンスを通して様々な世界観を表現する、というものだったんです。そこで、ステージで独特の世界観をたっぷりと披露してくれた8F寮生のM.M.ちゃん(以下M)にインタビューしてみました！

◎はじめての早稲田祭どうだった？

M—もっといろいろ見て回れると思ったけど、実際は自分

のサークルのことで精一杯で本当に慌ただしかった... (笑)。でもそのぶん、自分が早稲田祭を作っているんだ！という自覚を持ってました。大隈講堂で踊ることができるなんてすごい経験だと思えますし。早稲田祭には高校生、他大の人、地域の方...といったいろんな方が来るから、その人たちみんなを楽しませるためにはどうしたらいいのか、みんなですごくいっぱい考えてきました。直前期は週3.4日は練習して、一日6時間練習する日も。当日はすごく楽しかったし、これだけ大きな大学のイベントを生徒主導で動かしていくのはすごく大変なこと、組織の力が試されることだと思いました。

◎みんなすごく素敵な衣装着てたけど、あれってどうしてるの？
M—ああ、衣装は全部手作りなんです！衣装係がデザインを考えてくれて、あとは各自で自分の分を頑張ってるんです。みんなオールしたりしてましたね。メンズも慣れないミシン頑張りました(笑)

◎すごいな~！！ところで、来年の早稲田祭はどんなふうにしたい？
M—ジャズダンスはストリート系とは違って、『ダンスってカッコいいだろ！』というパフォーマンスをするんじゃないで、あくまで世界観を押し出すものなんです。いろんな人が観に来る早稲田祭だからこそ、ダンスに詳しくなくても楽しんでもらえて、ダンスを好きになるきっかけになったらいいな。とにかく、Oasisの世界観に引き込みたいです！！



(Text and interview by A.O.)

皆さん、お疲れ様でした！皆さんにとってどんな早稲田祭でしたか？悪天候だったのにもかかわらず、毎年のようにとても盛り上がった2日間でしたね。寝れない日々が続いて、体は疲れるけど、終わった後は、なんと表現すればいいかわからない達成感と快感で胸がいっぱいいっぱいだったのではないのでしょうか。WISH TIMESは来年の早稲田祭でも、輝くWIS Herを紹介する予定です。来年の早稲田祭では、どのWIS Herを紹介できるかとても楽しみです。気づけ、キミも主役だ！

WEEKLY RA



こんにちは！みなさんwish、早稲田での生活をエンジョイしてますか？私は前回紹介された健太郎と同じ名古屋の千種高校出身です。私もディズニーが好きですが、健太郎には敵わないので、他の面白いことを紹介します。今私の好きなもののひとつが自転車です。自転車に限らず地下を走ったり空を飛んだりしない乗り物が好きです。夜行列車も好きです。飛行機や地下鉄、夜行バスを使う時は断腸の思いです。

そんな中でも自転車の良いところは自転車です。町を走るのと町と町の繋がりや地下鉄や飛行機では見えない人の暮らしが見えておもしろいです！日焼け対策もしっかりすれば女の子も安心！是非東京の街を走って探検してみよう！こんなあたしですが、面白いこと大好きなのでぜひ見かけたら話しかけてね！

8F 新規RA T.T.

Next up

「YOUは何しにニッポンへ？」